
棚割システム 共通棚割情報仕様書

1999年 4月

棚割システム研究交流会

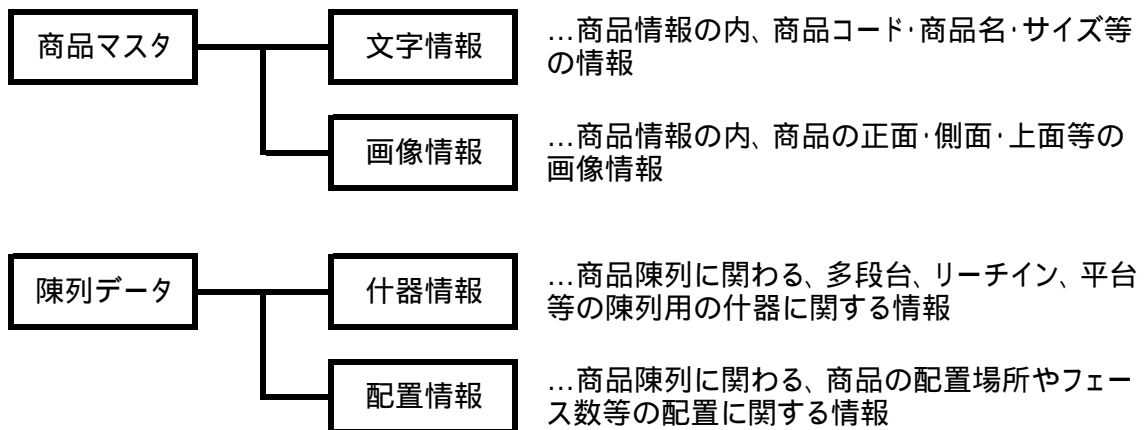
. 共通棚割情報について

1. 内容説明

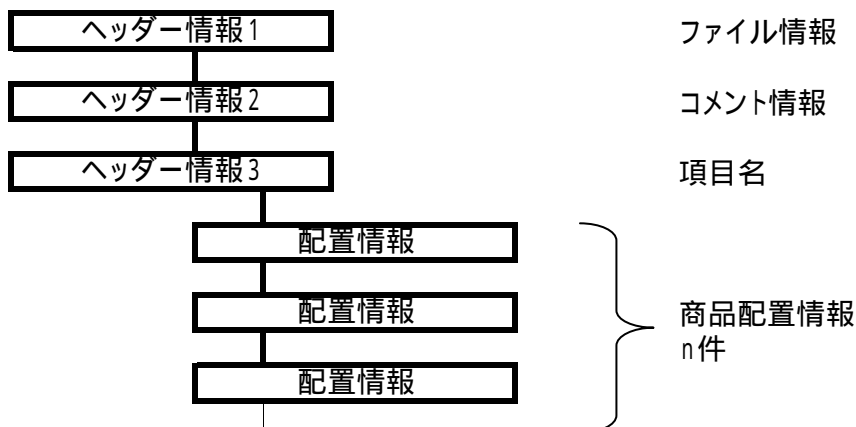
小売店が店頭で商品陳列を行う目的で、コンピュータ上で棚割のシミュレーション作業を行うソフトウェアをプラノグラムソフト(棚割ソフト)と呼ぶ。
プラノグラムソフト利用ユーザー間において、異なるソフトウェアが導入されていた場合、シミュレーションされた棚割モデルは別のソフトウェアでは再現できない。
このため、各プラノグラムソフトで作成されたシミュレーション結果を標準的に受け渡しを行い、異なるプラノグラムソフト間であっても出来上がった棚割モデルが再現できる標準情報の要件定義が必要となった。
ここで定義する共通棚割情報に関しては、下に示す陳列データの内の配置情報のみを指し示す。

2. 言葉の定義

各プラノグラムソフト間でやりとりされると想定される、共通的なデータの種類について以下の様に定義する。



. 共通棚割情報のレコード配列



. ファイル項目内容説明

：必須項目

9：数字 X：英数カナ K：漢字

1行目：ヘッダー情報1

NO	必須	項目名		属性	デフォルト	備考
1		ファイル管理子		K	共通棚割情報	デフォルト値をそのままセット
2		バージョン情報		K	V 1.0	デフォルト値をそのままセット
3		出力区分		X		IC：アイコンセプト IR：I R I アポロ DA：ダダ NJ：ニールセン NS：日本総合システム RS：リテ イルサイエンス その他からの出力はNULL

2行目：ヘッダー情報2

NO	必須	項目名		属性	デフォルト	備考
1		コメント		K		棚割パターン：モデル名等を自由にセット

3行目：ヘッダー情報3

NO	必須	項目名		属性	デフォルト	備考
1		項目名1		K	棚台番号	デフォルト値をそのままセット
2		項目名2		K	棚段番号	デフォルト値をそのままセット
3		項目名3		K	棚位置	デフォルト値をそのままセット
4		項目名4		K	商品コード	デフォルト値をそのままセット
5		項目名5		K	フェース数	デフォルト値をそのままセット
6		項目名6		K	フェース面	デフォルト値をそのままセット
7		項目名7		K	フェース回転	デフォルト値をそのままセット
8		項目名8		K	積上数	デフォルト値をそのままセット
9		項目名9		K	陳列種別	デフォルト値をそのままセット

4行目以降：配置情報

NO	必須	項目名	最大桁数	属性	デフォルト	備考
1		棚台番号	2	9	1	左から数えた台番号、候補商品：0
2		棚段番号	2	9	1	下から数えた段番号、候補商品：0
3		棚位置	3	9	1	棚段単位に左から数えた位置番号（SKU単位）、 候補商品：0
4		商品コード	26	X		商品コードをそのままセットする
5		フェース数	3	9	1	1以上の正数
6		フェース面	1	9	1	1:正面 2:上面 3:右側面 4:左側面 5:背面 6:底面
7		フェース回転	1	9	0	0:回転なし 1:左90度 2:180度 3:右90度
8		積上数	2	9	1	カウントできるものの実数合計
9		陳列種別	1	9	1	1：棚板段（置き） 2：フック段（吊し） 同一棚段では同一の種別

. 留意事項

ファイルはCSV形式（拡張子CSV）とし、ファイル名は任意とする。

レコードの並び順は棚台、棚段、棚位置順にソートし、商品の陳列順に並べて出力する。

アイテム単位（連続する同一アイテム・同一面・同一回転は1レコードで表す）とする。

必須項目は出力時必須とし、取り込み時は必要な項目のみ取り込む。

1ファイルにヘッダーレコードを3行持つ。実配置データは4行目以降とする。

英数カナ、漢字項目はダブルクォーテーション（"）で囲まない。

候補商品とは陳列棚上に並ばない商品を指し、必要に応じて取り込む。